

未来へ贈る「市民の夢プロジェクト」が決定

プロジェクトが決定

昨年7月～8月、市民が幸せを実感できるまちを目指し、「未来へ贈る 市民の夢プロジェクト」として、後世に残るまちづくりのアイデアを募集しました。

市民の皆さんから、73件のご応募をいただき、市民団体の代表などで構成される市制施行50周年記念事業推進委員会で審査した結果、「未来へ贈る 市民の夢プロジェクト」は、次の2件に決定しました。

プロジェクトの決め手

この2件は、いずれも袋井市固有の地域資源を再生し、市民生活の中で活用していることとするものであり、多くの市民が価値観を共有することができ、活動の広がりが見込めることと期待されています。

多くの市民が幸せを実感できるまちを目指し、平成23年度から、おおむね5年間にわたって後世に残る新たなまちづくりに取り組めます。

企画政策課企画係
044-33105

プロジェクト Project 01

誇れるふるさとの川づくり

四季折々、色々な表情を見せてくれる川。古くから市民の生活の傍らには、川があり、喜びや悲しみ、人々の感動とともに流れてきました。

川で出会い、川で潤い、川で育つ…感動あふれる「誇れるふるさとの川」を市民の手で未来の子どもたちへとつなぎます。

提案者：ユースネットふくろい

市内を流れる川の水質や水辺環境を改善して、「ふるさとの川」を保全・復元します。まずは、市の中心部を流れる原野谷川からモデル的に取り組み、得たノウハウをほかの川へと広げていきます。



01 水をきれいに
水質調査や水生生物の観察など川を知ることからはじめ、水質の浄化に取り組みます。



02 憩える空間づくり
河川美化、景観の保全など、自然の潤いを感じることができる空間づくりに取り組みます。



03 ともに考え楽しむ
市民と行政が専門家を交え、一緒に考え、楽しみながら取り組みます。

市内にある遊休農地を市民の手で開拓し、復元します。まずは、水田から取り組み、得たノウハウをほかの場所へと広げていきます。



01 農地として再生
セイタカアワダチソウなどの雑草や樹木が茂る荒れた農地を、市民の手で美しい農地に再生します。



02 作物の植え付け・収穫
田植えや稲刈り、脱穀など、古くから営まれていた農法などを体験し、収穫の喜びを分かち合います。



03 農資源の有効活用
農地、農産物、生産者の知識や技術、農の文化などを、身近にある農資源を有効に活用します。

プロジェクト Project 02

袋井 フロントニア農園

田園や茶畑が伸びやかに広がる風景は、袋井市の特徴です。

農地は、我々に収穫の喜びを与えるとともに、自然環境の保全や水源のかん養など、安定した暮らしを授けてくれました。

世代を超え、知恵を重ねて、受け継いできましたが、その一部は、利用されることがない「遊休農地」として、存在します。

市民のフロントニア精神で、この途切れた「たすき」を未来の子どもたちへとつなぎます。

提案者：ユースネットふくろい

◇ユースネットふくろい…若者の社会参加を支援することを目的とした団体。市内の青年団OBや支援者で組織されています。